



優勝額用の写真撮影に臨む稀勢の里



撮影前 大いちょうを整えリッピン



優勝額の写真撮影に向け、付人に細帯を締め直そう

眼光鋭く 光る汗

大相撲の面国技館に足を踏み入れると、土俵を見下ろす優勝力士の巨大な額が目に入ってくる。天井付近に32枚、今度の夏場所(5月14日初日、古い枚がらうざれ、新たに場所連続優勝した横綱稀勢の里の紋が加わる。東京都内で行われた稀勢の里の優勝額撮影に密着した。午後9時前、綱を締めた稀勢の里が撮影現場に現れた。張の詰めた空気が響く。

「左手に太刀を持ってください。もう少し取っ手の位置をこちら側に向けて」

カメラマンの注文で撮影が始まった。今回は左手に太刀を持って「立止するポーズだ。眼光が鋭い。静寂なスタジオに、大型デジタルカメラのシャッターと「ボン」というフラッシュの音が響く。5枚、10枚……。次第に横綱の気持が高まっていく。体中から汗が流れ出し、表情が引き締まってきた。

「ギュッと力を入れて、少しあを引いて。はい、太刀を内側」

カメラマンの息が止まってきた。何度かモニターで画像やボナをチェックしながら約1時間、最後の一枚を撮り終えた。「疲れた」。ようやく稀勢の里の表情が緩んだ。

【松田嘉徳、写真も】

稀勢の里 優勝額撮影



土俵を見下ろすように飾られている優勝額

来月13日、両国国技館で贈呈

毎日新聞社は戦前から、大相撲の優勝力士への額贈呈を続けている。縦3.17m、横2.285m(畳5枚分)、重さ59kg。2013年までは、白黒写真に油絵の具で色を付ける色彩写真方式だったが、14年から富士フィルムのデジタル技術を使ったカラー写真にモデルチェンジした。稀勢の里への優勝額贈呈は5月13日午前10時20分ごろから両国国技館の正面玄関で行われ、14日に掲額披露される。



写真を額に入れたミニ額品の完成品を検品する(提供写真)

毎日新聞社は優勝額と同じデジタルデータを使ったミニチュア額を販売しています。今回撮影した春場所(3月)のミニ額注文を受け付けます。

国技館に掲額する写真は東京都品川区にある富士フィルムメディアソリューションズの施設で、ミニ額の写真は調布市同社工場で作成。同社が誇る高精度写真技術を使い、退色や変色に強いプリントに美しく仕上げます。ミニ額の写真は、傷や汚れがない厳重に検品するため、1日に作れる枚数は限られます。同社と取引のある額縁工場に送られ、特注の木枠を取り付けて完成です。

◇ミニ額を希望される方は以下の要領でお申し込みください。5月

ミニチュア額 販売します

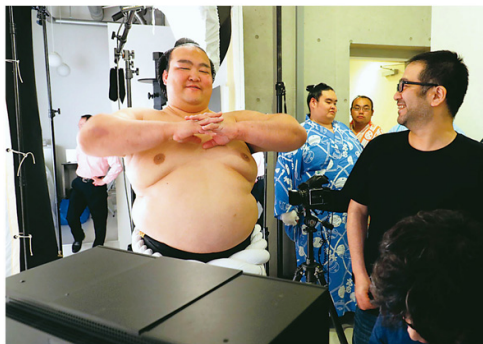
中旬まで受け付け順にお届けします。春場所と初場所(1月)のセット割引販売もします(5月12日まで)。

△価格 一枚900円。春場所・初場所のセットは1万8000円(送料、消費税含)

△申込み方法 郵便局の郵便振替(口座番号:0101600300007010)加入者名に「株 毎日新聞社事業本部」通信欄に「優勝額 平成29年春場所・稀勢の里関係」または「優勝額関係 平成29年初場所・春場所稀勢の里関係」を記入し、電話番号、番、住所、氏名、電話番号を漏れなく書き込んでください。

△問い合わせ 毎日新聞社事業本部(03・3212・0190) 平日午前10時〜午後5時

※過去の優勝力士のミニ額も製作できます。事業本部にお問い合わせください。



撮影に写真生ターでデモンストラツカカメラマンの職業もある



撮影が終わり、付人や床山と記念撮影

撮影を終えて

稀勢の里の話 額は5年以上も(国技館内に)飾られるものですから、うれしいですね。光栄なことです。これから額にしてもらえるよう、しっかりやっていきたい。気持ちの面でも、相撲への立ち向かい方でも、ぶれない横綱になりたい。しっかり挑戦して、良い成績を残して、いい姿を見せられるようにしたい。そのためには一日一日を大切に、しっかりけいこしたいです。